

キヤノンITソリューションズとジャストシステム  
Android™向け絵文字ソリューションの開発・提供で協業  
～「ATOK」との組み合わせで、Androidでの絵文字入力を快適に～

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)と株式会社ジャストシステム(本社:徳島市、代表取締役社長:福良 伴昭)は、Googleが提供するオープンプラットフォーム「Android」を搭載したスマートフォン向けの絵文字ソリューションの開発・提供で協業します。

近年普及がめざましいスマートフォンにおいても、日本のケータイ文化である絵文字対応へのニーズは高いといわれています。絵文字は通信事業者ごとに仕様が異なり、1コマだけの静止画のものもあれば、最大6コマの動く絵文字まで複数種類の仕様が存在しています。Androidでは絵文字のデータを扱うためのAPIが準備されていますが、日本市場で普及している動く絵文字の表示には対応していません。

今回の協業は、Android向け開発に実績があるキヤノンITSが、文字コードが割り当てられている絵文字(動く絵文字を含む)の描画モジュールを開発します。この絵文字描画モジュールを導入することで、簡単に日本国内の各通信事業者の仕様に従った動く絵文字までを表示することが可能になります。また、ジャストシステムが開発するAndroid向けの日本語入力システム「ATOK for Android(仮称)」との連携により、バリエーションある絵文字の中から使いたい絵文字を、読みからの予測変換機能を使って簡単に入力できるようになります。両社はこの絵文字ソリューションの仕様を共同で作成し、動作確認なども共同で行います。

両社は、Android向け絵文字ソリューションを、携帯電話機メーカーに提案していきます。メーカーは本ソリューションを採用することで、手軽に絵文字入力機能を自社のスマートフォンに組み込むことができます。

当初は文字コードが割り当てられている絵文字を扱えるソリューションとして提供を開始しますが、今後各種携帯電話端末にプリインストールされているデコレーション絵文字や、メールなどで入手したデコレーション絵文字への対応を順次行い、両社でAndroid搭載スマートフォンでの絵文字入力環境の向上に貢献していきます。

<絵文字について>

携帯電話で使われている絵文字は、「携帯電話内にあらかじめ実装されていて、文字コードと対で表現される絵文字(以下、「絵文字」と表記)」と「Eメールでの受信や、サーバーからダウンロードすることで外部から携帯電話内に取り込むことができる「デコレーション絵文字」」の2種類に大別されます。

“絵文字”は通信事業者により仕様が異なる機種依存文字です。

他の通信事業者間で、“絵文字”を含むEメールのやり取りを行う場合、同じ文字コードでも通信事業者によって割り当てられた絵文字が異なるため、Eメールを送出する時、サーバー側で送信先の通信事業者に合わせて、Eメール内の絵文字コードを変換するサービスが導入されています。

Androidの標準仕様では、“絵文字”に対して通信事業者の枠を超えて、統一された文字コード(Unicode)が割り当てられています。しかしながら、現在のところ動く絵文字の表示には対応していません。

デコレーション絵文字は、主にデコレーションメール(cHTMLメール)内にインラインで用いられるJPEGまたはGIF形式の画像データであり、通信事業者ごとに別々のサービス名称で表現されています。

(“絵文字”とは異なり、画像データに対して文字コードが割り当てられていません。)

デコレーション絵文字は、デコレーションメールの添付ファイルとして、携帯電話間での送受信や、ダウンロードサービスを提供しているサイトからダウンロードすることにより、携帯電話の内部に格納されます。

また、各通信事業者および携帯電話メーカーの特色を強調するため、あらかじめ携帯電話の中にプリセットされているケースもあり、“絵文字”と混同されがちです。

\* 記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。